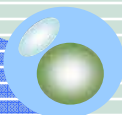


平成20年度

地域交通支援モデル事業の 採択結果

交通政策部 空港・交通課



事業の背景



これまでの公共交通

- ・路線バス
- ・コミュニティバス
- ・タクシー



満たされていないニーズがある

高齢者等 交通弱者の声

高齢になったので
免許を返納したところ
地域に交通手段がなく
困ってしまった...

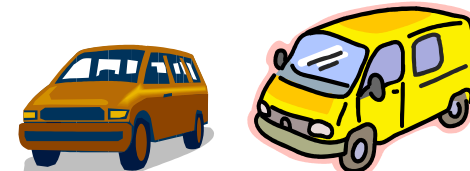


バス停が遠いから、歩いて行くのも一苦勞。通院も買物も大変...

公共交通の拡充

- ・市町村運営有償運送
- ・福祉有償運送
- ・過疎地有償運送

H18.10 ~ 改正道路運送法で創設



【地域交通支援モデル事業】

バスやタクシーを補完するものとしてよりきめの細かい 新たな地域交通のしくみづくり

社会福祉協議会、NPO、自治会等によるアイデアや人材を活用した自立的、自発的な取組みを支援

モデル事業の応募状況

実施主体の公募
(4月10日～5月20日)

11件の応募

採択3件

実証実験

(需要調査、計画策定、試験運行、検証)

本格運行・他地区での展開
につなげる

採択の基準

- (1) 新規性
- (2) 実現性
- (3) 持続性

佐賀県地域交通支援モデル 事業費補助金

市町

補助率2/3

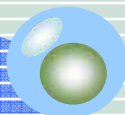
限度額450万円

市町以外

補助率10/10

限度額200万円





デマンド(需要応答)型貸切バス

採 択

佐賀市大和町川上校区

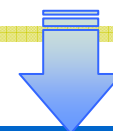
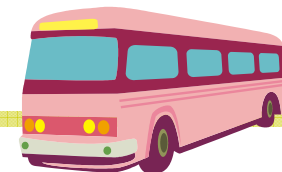


世帯数約1,600戸、約6,300人

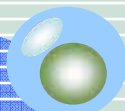
南北に走っていたバス路線が
平成11年3月に廃止

県道を走るバス路線はあるが
交通不便

病院、商業施設等は尼寺周辺
に集積



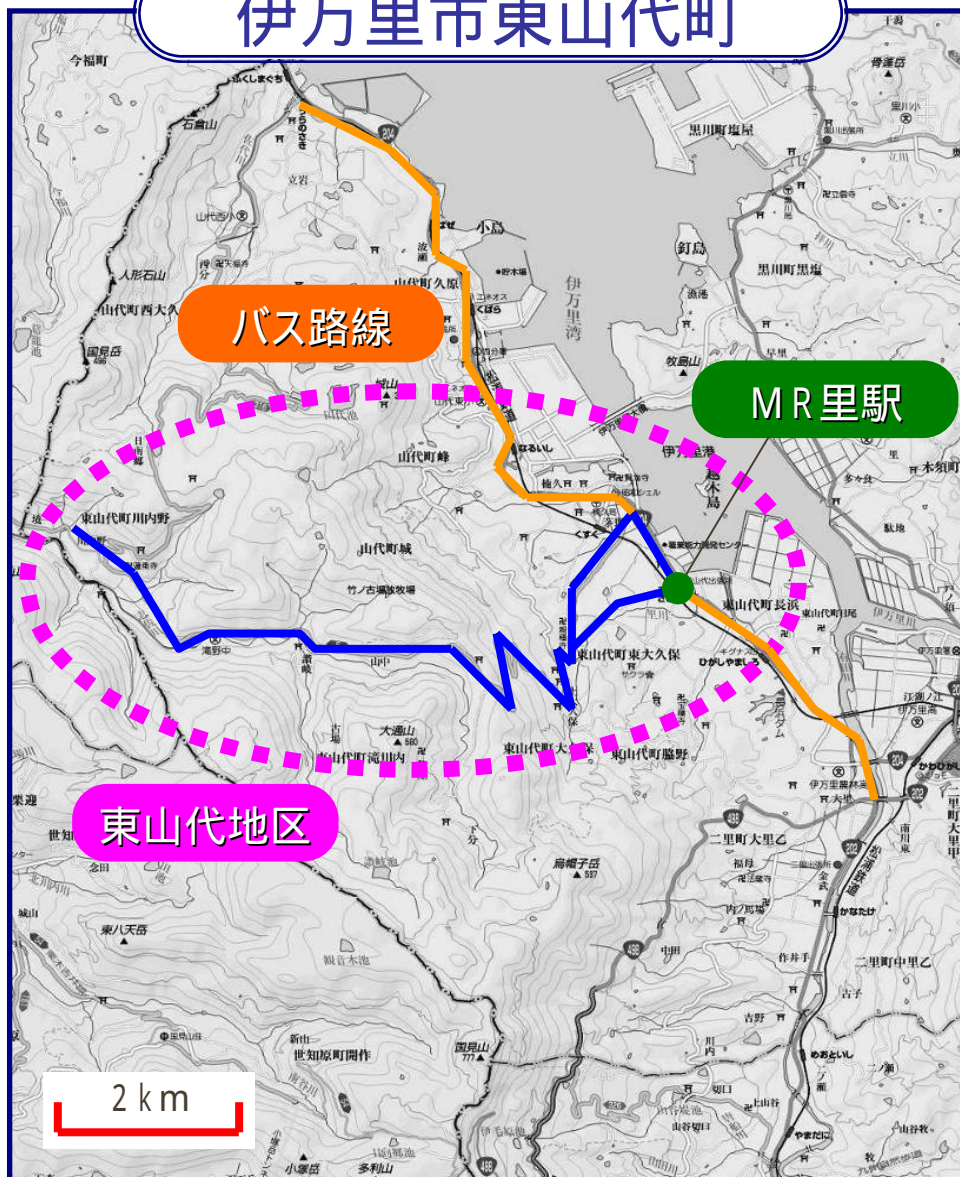
地元自治会が
住民の予約に応じて
貸切バスを運行



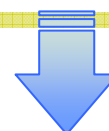
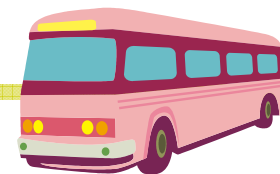
定時定路線型貸切バス

採 択

伊万里市東山代町



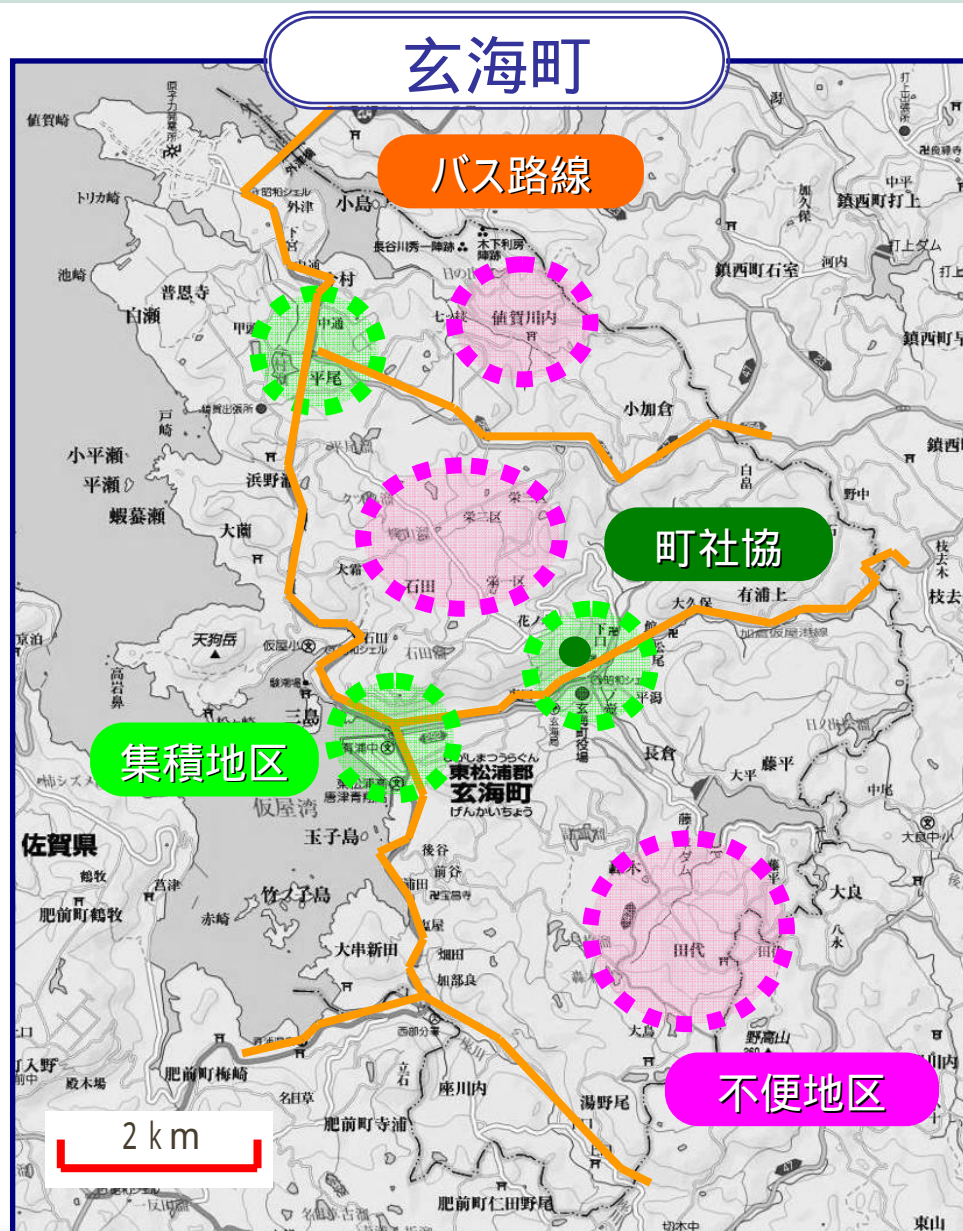
世帯数約2,200戸、約6,000人
 現路線は伊万里市が廃止路線
 代替バスとして運行
 病院、商業施設等は国道沿い
 に立地



地元自治会が
 住民主導のダイヤ
 編成を行う
 貸切バスを運行し
 幹線交通と結節

自家用無償旅客運送

採 択



世帯数約2,000戸、約6,700人

国道等を走るバス路線はあるが、交通不便

病院、商業施設等は町内数か所に立地



町社会福祉協議会が
協議会所有車両の
遊休時間を活用して
無償運送

今後の取組み



地域交通支援モデル事業の実施

広く↓周知

他地域での展開

地域の移動手段の確保

高齢者等が地域の中で
安心して暮らせる社会に

公共交通機関
の利用促進

自動車の
共同保有・利用

マイカー
相乗り促進

低炭素社会の実現

道路運送法の課題の整理

【自家用無償旅客運送】

- ・ガソリン代の収受は実車
区間のみ(迎車料不可)
- ・市町村直接実施はいい
が市町村補助は不可

国への政策提案
構造改革特区申請
九州地方知事会での提案

自家用有償旅客運送の制度



(旧) 道路運送法

緑ナンバー



白ナンバー(有償)

例外許可

市町村バス等

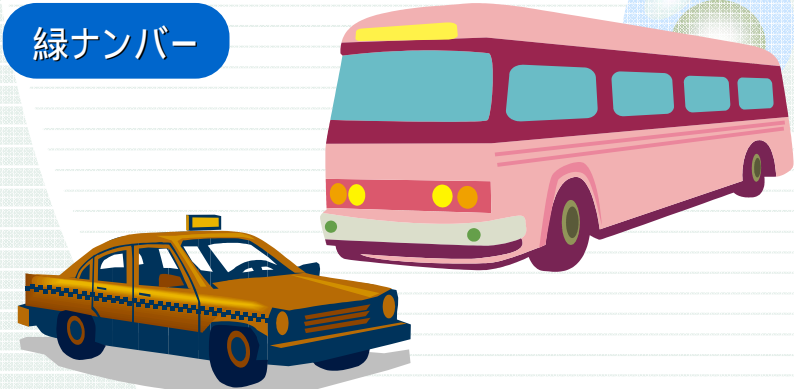
H15.4 ~ 特区実施 H16.3 ~ 全国展開

福祉車両でのボランティア有償運送

交通空白地でのボランティア有償運送

改正道路運送法 (H18.10 ~)

緑ナンバー



白ナンバー(有償)

登録制度(創設)

市町村運営有償運送

市町村が保有する車両により、住民に対し有償で区域内の運行を行うもの

福祉有償運送

NPO等が障がい者、要介護者等を対象に自家用車で有償運送を行うもの

過疎地有償運送

NPO等が過疎地域等で、地域の住民等を対象に自家用車で有償運送を行うもの